2019年度「自分の人生、自分で決める!

未来を生きる女子たちのキャリアセミナー」開催要項

#### 1. 趣 旨

国立女性教育会館では、具体的なキャリアプランを考える時期にある女子大学生や、働きは じめ、これからのキャリアについて考えている10代から20代の女性を対象に、自分自身と 向き合い、今後の職業生活を含めたライフプランニングを行うセミナーを開催します。

セミナーでは、働く女性を取り巻く社会環境や、女性が直面する課題について知識を得るとともに、実際にそれらを乗り越えて働き続けてきた女性たちの経験談や話し合いを通して、自分自身の軸をもった、生き生きとした働き方・生き方を選択する力をつけることをめざします。同時に、大学や企業等において、女子学生や若手女性職員を対象としたキャリア開発プログラムに携わっている方を対象として、支援の必要性とポイントについて理解を深めるとともに、参加者間での情報交換を行う機会を提供します。

#### 2. 主 題

「わたしのこれからをデザインする」

# 3. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館

# 4. 共 催

リーダーシップ111

\*リーダーシップ111 (ワンワンワン) は、各分野を代表する女性たちが、よりよい社会の実現を目指して、助け合い、学び合い、情報交換をするネットワークとして、1994年に設立されました。グローバル社会に向けて提言を発信し、自らも実践することをモットーとしている団体です。

### 5. 会 場

国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

電 話 0493-62-6714

FAX 0493-62-6722

### 6. 期 日

令和2年2月15日(土)~2月16日(日) 1泊2日

### 7. 対象·定員

- (1) 女子大学生(短大生、大学院生も含む)及び20代の働く女性 30名程度
- (2) 大学・男女共同参画センター・企業等において、女子学生や若手女性職員を対象としたキャリア開発プログラムに携わる方、キャリア教育・就職支援・男女共同参画等に関わっている教職員の方 10名程度
  - \*教員・職員プログラムで支援のポイントを学びつつ、実際のプログラムを見学していただきます。

### 8. 日 程

2/15 (土)		12:15 13:00 13:10	15:00	0 15:30	17:20 1	8:00 18	:30 19:30 21:00
		オープ		アイス パネル	チェック	情報センタ	交流会
		付ける	講義	スプレーディスカッショ. グ	クイン	ター見学	食 交流会見学・ 教員・職員対象 プログラム
	9:00 10:10 12	00 12:10		•			
2/16 (日)	ブループワーク	クロージング					

# 9. 内容

# 第1日 2月15日(土)

(1) オープニング

13:00~13:10

主催者挨拶: 内海 房子 国立女性教育会館理事長 プログラムオリエンテーション: 櫻田今日子 国立女性教育会館総務課長

(2) 講義 13:10~14:50

①「キャリアを考えることは人生を考えること」

新たにキャリアを築きはじめた女性や、これから社会にでていく女子学生が直面する課題について、様々なデータを用いながら解説し、課題を乗り越えるためのヒントを探ります。自分自身のもつ可能性を探り、一歩踏み出すキャリア形成について考えます。

講師:中野 洋恵 国立女性教育会館事業課客員研究員

②「自分軸から他人軸へ、100歳社会を心豊かに」

これからの100歳社会は、自分だけの価値観だけではなく、他人の価値観も尊重して 生きる事が大事です。地球規模で人生を捉え、長期的視点でキャリアを形成していくこと について一緒に考えてみましょう。

講師:落合 良 元共立女子短期大学講師

元ソニー株式会社トレンドマーケティング担当部長

(3) アイスブレイク「お互いを知ろう!」

15:00~15:30

簡単なワークを通して初めて会う仲間たちと知り合い、共に心を開いてこの2日間を豊か に過ごすための関係づくりを行います。

講師:石倉 香鈴 国立女性教育会館事業課係員

(4) パネルディスカッション「わたしの可能性を広げるチカラ」

15:30~17:20

人生経験を重ねたパネリストとともに、働く女性の現状や課題、女性の人生設計に関わるさまざまな出来事や、働くことの面白さ、課題を乗り越えるための視点について考えていきます。またNWECが有する研究成果や各種データによる解説も交え、働く女性が置かれている状況について、個人的観点だけでなく社会的観点からも読み解きます。

パネリスト: 平野こずえ JXTGエネルギー株式会社 危機管理部

危機管理グループ 担当マネージャー

磯上 悦子 株式会社富士通ビー・エス・シー

ソリューション事業本部部長

丹羽 麻子 国立女性教育会館事業課専門職員

ファシリテーター:猪俣由美子 エンパワーマネジメント研究所代表

兼人材コンサルタント

# 【本館移動】

(5) チェックイン・休憩

17:20~18:00

(6) 女性教育情報センター・女性アーカイブセンター展示室見学ツアー

18:00~18:30

講師:細川 芽 国立女性教育会館情報課長

(7) 夕食 18:30~19:30

(8) 交流会「先輩に聞いてみる!カフェ」

19:30~21:00

パネルディスカッションのパネリストを囲み、小グループで意見交換を行います。働く上での不安や疑問を直接質問してみましょう。また、あなたのやりたいことについて意見を聞いてみてもいいかもしれません。さまざまな立場の方のお話を聞くことでキャリアについての自分の考えを掘り下げ、整理することができます。また、参加者同士の交流から自身のネットワークを広げてみましょう。

(※) 教員・職員対象プログラム 「次世代を担う女性キャリア支援の意義とポイント」

20:00~21:00

交流会を見学した後、別室に移動し、なぜ若年女性へのキャリア支援が必要なのか、またその実際について、NWECでの事業例をもとに解説します。

講師:櫻田今日子 国立女性教育会館総務課長

### 第2日 2月16 (日)

(9) 講義と実践「自己表現のためのボイストレーニング」

 $9:00\sim10:00$ 

コミュニケーションの基本は、相手に声が届くところから始まります。声が届いて初めて 気持ちも届くのです。声が言葉にいのちを吹き込みます。良い声は自分を励まし、他人を励 ます力があります!社会人として自立するために、身体と心を鍛える声の力を身につけまし ょう!なお、このプログラムは動きやすい服装で参加してください。ハイヒール、タイトス カートはお控えください。

講師: 宮崎 絢子 ボイスコンサルタント&ボイストレーナー 元テレビ東京アナウンサー&プロデューサー

(10) グループワーク「わたしのこれからをデザインする」

10:10~12:00

これまで学習した内容を踏まえ、自分の価値観や社会との関わり、これからの目標を明確にするキャリアシートを作成し、自分のキャリアデザインを具体化します。

また、作成した自分のキャリアデザインについて発表、仲間からのフィードバックをもら

って自身を客観視することで、自分なりの行動や思考の基本軸を確認し、実際に一歩踏み出 していくための心構えと自信を身につけます。

講師:丹羽 麻子 国立女性教育会館事業課専門職員

(11)  $\rho = -\tilde{y} \sim \tilde{y}$  12:00~12:10

パネリストやスタッフからのコメントを交え、2日間の研修を振り返ります。アンケート 記入を行います。

- 10. 申込方法・期限等
  - (1) 方法

国立女性教育会館ホームページ (<a href="https://www.nwec.jp/">https://www.nwec.jp/</a>) 掲載の申込専用フォームでお申込みください (FAX、電話、郵送での受付はしておりません)。

#### 【申込フォーム URL】

· 女子大学生 · 社会人用

https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pakg-lancmj-fe1fec5acc7a93dbadcfab47542b3bbe



・大学・男女センター等職員用

https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pakg-lancna-6ec6ba9587abbdb6cb08efbab4cf514d



(2) 申込期限

令和元年2月10日(月)15:00</u>%先着順に受け付けます (期間内でも定員に達した場合はお断りすることもありますのでご了承ください)。

(3)参加決定のお知らせ

ご本人宛にメール送信にてお知らせします。

※<u>必ず progdiv@nwec.jp からの返信メールが届くようフィルター設定を確認してください。</u>順次、参加決定をお知らせしますが、2月10日(月)17:00までに参加決定通知が来ない場合は、お手数ですが総務課(電話:0493-62-6714)までお問い合わせください。

- 11. 所要経費
  - (1)参加費 無料
  - (2) 宿泊費 研修期間中は1泊1,200円(前・後泊が必要な方はこの料金で宿泊できます。)
  - (3) 食 費 朝食バイキング 880 円、昼食 560 円~、夕食バイキング 1,100 円
- 12. その他

<u>期間中、職員が撮影した写真を事業記録や広報(ホームページ、フェイスブック、チラシ</u> 等)のために使用することがあります。あらかじめご了承ください。